

山陽オートレース事業

日本トーター株式会社に 事業運営を包括的民間委託します



多額の負債を抱える山陽オートレース事業の経営改善を行うため、民間委託の方針を打ち出し、7月にその業務の受託業者を募集しました。応募のあった2社の企画提案書等を審査した結果、この度、日本トーター株式会社を委託先に決定しました。

来年1月には包括的民間委託（※1）での運営がはじまる山陽オートレース事業について、今後の財政的な展望をお知らせします。

【問い合わせ先】公営競技事務所（☎ 76-1115）

日本トーター株式会社

昭和57年4月設立。本社は東京都品川区。資本金10億円、社員数1,246名（2006年7月1日現在）。売上額215億円（2005年度）。全公営競技種市場占有率は49%となっており、全国109の公営競技施設に納入実績（オートレース事業では全6場の内5場を占めることとなる。）をもっている。事業内容の主なものは次のとおり。

●公営競技開催の業務全般の運営に関する業務代行支援及びそのコンサルタント ●公営競技における各種情報処理システムの製作、保守、運用 ●各種映像、表示システムの製作、保守、運用



日本トーター株式会社
常務取締役
薩摩 幸悦氏

日本トーター株式会社は、市に企画提案した内容を確実に実行し、山陽オートレース場を活性化することを約束します。また健全なオートレース場としての面白さもアピールしていきますので、ぜひとも山陽オートレース場のファンの皆様、来年2月中旬のリニューアルオープンを期待していただきます。（調印式の記者会見から要約）